

石神遺跡第十九次調査出土木簡 釈文と解説

奈良文化財研究所 都城発掘調査部

①(表)上長押釘卅隻 之中打合釘二 五丈

(裏)□□(削り残り)

248×36×3 032 東西溝3

※上部に切り込みのある荷札状の完形木簡です。裏面は削り残りで、内容は表面のみで完結しています。「上長押」とは、柱と柱をつなぐ水平材のうち上部のもので、釘によって柱と固定されました。そうした上長押に用いる釘三〇本を進上する際に使用された木簡です。裏面には切り込み部の左右を結ぶように地肌が薄くなっている箇所がみえ、これは紐が掛けられていた痕跡と考えられます。おそろしく釘三〇本を紐で束ね、さらに木簡に括り付けていたのでしょう。割り書きには、長押釘三〇本のうち、二本は「打合釘」(両端を尖らせた釘)で、長さが七寸(約二二cm)のものとして記されています。下部の「五丈」は、上長押の長さと考えられ、約一五五という長大なものです。

② 〇小柱十九

150×37×4 081 現代暗渠

※上部部に径五mmの小孔のあけられた材のやや左寄りに墨書しています。①の木簡から、遺跡近辺で建物の造営作業がおこなわれていたことがわかりますが、本木簡もそれに関係するものでしょう。

③ □米二斗

(149)×43×3 019 東西溝4

※上端が折れていますが、おそろしく米の支給に関わる記録簡です。石神遺跡の過去の調査で、仕丁に対して一日あたり米二升を支給していたことを示すものが出土しています。これを参考にすると、「二斗」は仕丁十人分の米支給量ということになります。仕丁は雑役に従事することになっており、①②の木簡と同様、造営がおこなわれていたことを示唆しています。

④ □廿七人 沙弥六十

(115)×(48)×4 081 南北溝1

※木簡の上端および左下は二次的整形がなされています。材の右端に木簡本来の墨書があり、人数を書き付けています。「沙弥」とは、男性の見習い出家者のことです。その下に「六十」とありますが、「六十人」もしくは「六十□人」と書かれていたと考えられ、かなりの人数になります。「廿七人」の上は「僧」と書かれていた可能性があります。読経か法会がおこなわれたのでしょうか。石神遺跡の過去の調査で、仏教に関わる文言をもつ木簡が出土しており、それとの関連が注目されます。

⑤(表) 正月四日志紀未成

(裏)□

(148)×11×2 081 南北溝4

※上端折れで、右下部も欠損します。裏面はわずかな墨付きがあるのみで、削り残りの可能性もあります。表面は、現材の下半部に文字を記していますが、理由は不明です。「志紀」は、河内国や大和国などに知られる地名で、これらの地に由来する氏族と推測されます。「未」は「未」の可能性もあります。

⑥(表)辛巳年□□

(裏)□部五十戸

125×32×3 032 東西溝4

※上部に切り込みをもつ完形の荷札木簡です。「辛巳年」は天武一〇年(六八一)。「五十戸」は「サト」で、「里」よりも一昔前の表記です。税の貢進に関わります。表面の下半部には評名が書かれていたと推測されますが、最下字は現状では「評」とみるには問題が残っています。

⑦ 田田塩二斗

118×23×7 031 東西溝3

※上下に切り込みをもつ荷札状の完形木簡です。「田田」は「タタ」と呼ばれた地名と考えられます。塩を貢進していることから、紀伊国名草郡多田郷を指す可能性があるかもしれません。

〔参考史料〕

(1) 天平宝字六年(七六二) 造石山寺所鉄充并作上帳

〔大日本古文書〕十五ノ二九四頁

(前略)

二日下鉄二延 付物部根万呂

重七斤七兩 得六斤一兩 損一斤六兩

作上平頭釘十六隻 重一斤二兩 四寸者

六寸吳釘十二隻 重一斤二兩

六寸長押打合釘六隻 重一斤十兩

四寸打合釘卅六隻 重一斤三兩

右、作上鉄物等如件

主典安都宿祿

下道主

(後略)

(2) 石神遺跡出土の仕丁関係木簡(一部)

1 (表) 方原戸仕丁米一斗

(裏) 「阿之乃皮尔之母」

(168)×29×2 051 第16次

2 (表) 委之取五十戸仕丁俸物

「建建」

二斗三中神并弥斗

(裏) 「銀銀釜重子小子」

建建 建

197×40×2 011 第15次

3 (表) 加牟加皮手五升

神久 二升小麻田戸二升

(裏)

鳥取 二升桜井戸二升一升

青見 二升知利布二升 汗久皮ツ二升

296×57×5 051 第16次

(3) 石神遺跡出土の仏教関係木簡(一部)

1 (表) 己卯年八月十七日白奉経

(裏) 観世音経十卷記白也

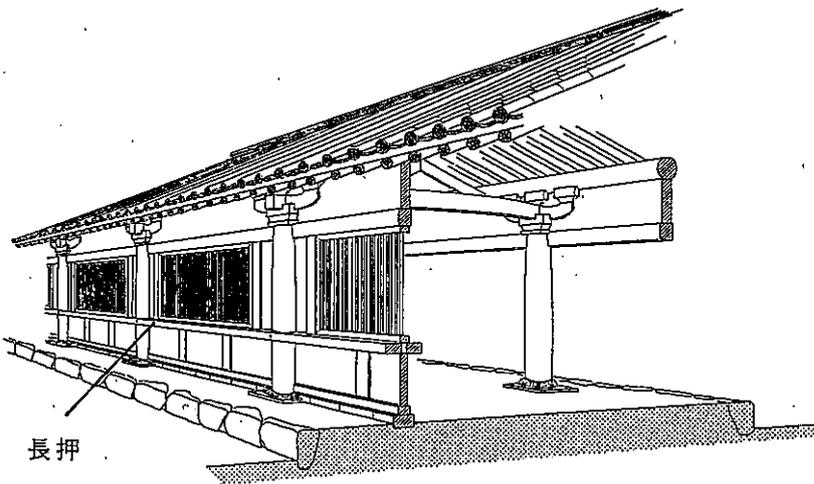
186×23×4 011 第18次

2 (表) 聖御前白小信法

〔謹力〕〔賜力〕

(裏) 〇

(285)×27×3 019 第18次



山田寺回廊復元図